

with

【ウイズ】
～未来につなぐ～



撮影場所:八代農業高校(ワシントンヤシ通切)

特集

予算ってどうやって決まるの？

八代市議会内の活動や議会
日程等をFacebookで情報
発信しています



予算って どうやって決まるの？

新年度が始まる前に、市役所では「予算」の計画を立てます。
予算が成立するまでに、議会がどのような役割を果たしているのかをご紹介します。



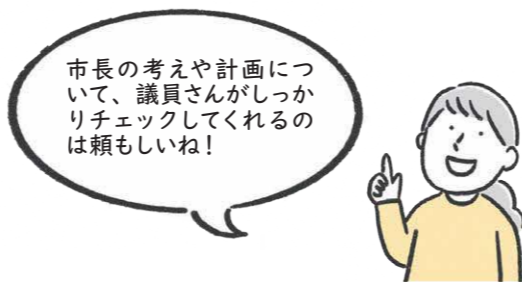
市が1年間に行う活動のために、
「どこからお金を入れて(歳入)」「何にいくら使うか(歳出)」
を決めた大切な計画のことです。

市長が予算案を作成します

防災・教育・福祉・経済・子育て支援など、日々の暮らしに欠かせないさまざまな行政サービスは、予算に基づいて行われています。

限られた財源を有効に活用するため、市長は必要性や優先度を考えながら、無駄のない予算編成を行います。

市長は地域の課題や要望を把握するとともに、実現に向けて具体的な予算案を作成し、議会に提出します。



議会で予算を決定します

議員は市民の代表者として、市民が納めた税金が正しく使われているか、効果的に使われる計画になっているかチェックします。

また、日頃の活動の中で市民から寄せられた要望が予算案に反映されているかを確認し、意見を述べるなど、市民目線でしっかり審査し、最終的な決定を行います。



市の予算について
詳しくはコチラから ▶



予算ができるまで

私たちのまちの未来を決める大切なプロセス！



1 step

予算案を作成

【予算の検討】

地域の状況や市民からの要望、意見等を踏まえ、各部局で次年度に必要な予算を検討し、予算額を積算します。



【予算の作成】

市長は事業の規模や優先順位等を判断し、最終的な「予算案」を作成します。



2 step

議会で慎重に審議し、採決

議会の出番
はココ!!

【議案の説明】

予算の成立には、議会の議決が必要です。市長は、作成した予算案を議会に議案として提出し、予算案の内容について、議場で説明します。

【委員会で審議】

提出された予算案は、各専門分野の委員会で慎重に審議します。質疑や意見が活発に行われた後、委員会としての結論を出します。

【討論・採決】

議場で委員会審議の結果を報告し、賛否の意見を述べる討論を行います。その後、議員全員で採決し、可決されれば「予算」として成立します。



豆知識

毎年3月定例会では、次年度の当初予算議案が提出されます。

令和8年3月定例会では、令和8年度一般会計予算729億6000万円が計上されました。

3 step

予算の執行

【事業の実施】

予算が成立すると、市長は予算を使うことができます。成立した予算に基づき、さまざまな行政サービスを実施します。

予算が成立した後も続く「監視の目」

議会は予算案を可決して終わりではありません。予算が正しく使われているか、効果は出ているかなど、事業の進捗等についても、引き続き議会でしっかりとチェックしていきます。



3月定例会

2.20(金) >> 3.23(月)

32日間

定例会の流れ

3月定例会では、条例議案 17 件、予算議案 17 件、その他 13 件を審議しました。

開会 2月20日 本会議 提案理由説明	3月 3日～5日・9日 本会議 質疑・一般質問	3月10日 災害対策等に関する特別委員会	3月12日 企業誘致等に関する特別委員会	3月16日 文教福祉委員会 建設環境委員会	3月17日 経済企業委員会 総務委員会	3月23日 本会議 討論・採決	閉会
------------------------------	----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------------	---------------------------	-----------------------	----

クローズアップ

議会が目にした議案をピックアップ!

八代市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例の制定について可決

本条例は基本理念を定め、市の責務並びに市民及び事業者の役割を明らかにするとともに、市が推進する施策を定めることにより、全ての市民が障がいの有無にかかわらず、人格と個性を尊重し合いながら安心して暮らせる共生社会の実現に寄与することを目的として、条例を制定します。(令和8年4月1日施行)

八代市長の給料の減額支給に関する条例の制定について可決

令和8年4月1日から同年7月31日までの間における市長の給料について、八代市長等の給与に関する条例別表に定める額(925,000円)から、50%を減額する条例を制定します。(公布の日施行)

令和7年度3月補正予算を可決

一般会計 31億4,760万円

物価高騰に対する給付金を支給 13億3,493万円

食料品価格や光熱水費等の物価高騰に対する支援として、対象となる市民に対し、1人あたり1万円を支給します。

※7月初旬頃に支給予定。

LED照明への買い替え費用を補助 3,150万円

エネルギー価格高騰による影響を軽減し、ゼロカーボンに向けた省エネ対策として、蛍光灯や白熱電球等からLED照明への買い替え費用の一部(補助率1/2、上限3万円)を補助します。

令和8年度当初予算を可決

一般会計 729億6,000万円

災害からの復旧・復興

坂本町の創造的復興

地域おこし協力隊(坂本支所分) 1,552万円

都市地域から坂本町に生活の拠点を移した方を地域おこし協力隊員として雇用し、活動を支援します。

災害対策等に関する特別委員会ではこんな意見が出ました

意見 坂本町の元の住民や出身者がふるさとに帰りたくなくなるような態勢・まちづくりを地域おこし協力隊にも担っていただきたい。

令和7年8月豪雨からの復興

畳替えに対する助成 5,371万円

令和7年8月豪雨でり災(床上浸水)した市民が行う八代市産畳表を使用した畳替えに対し、助成(補助率9/10以内、1畳当たりの上限13,000円)します。



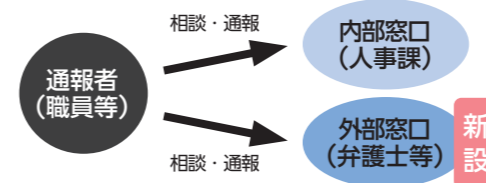
補助対象となる八代市産畳表のQRコード付タグ

八代未来づくりビジョン7つの基本目標の実現

1. 市民から見える、市民の声を聞く信頼されるまちづくり

コンプライアンス体制の充実・強化 99万円

職員の倫理保持に関する審議、調査等を行う「八代市職員倫理審査会」及び職員の法令等違反行為の通報・相談の対応を行う「内部通報相談窓口」の運営を行います。



3. 市民格を高める文化薫るまちづくり

伝統文化財の保存 1,005万円

八代妙見祭がユネスコ無形文化遺産に登録されて10周年を迎えるため、八代妙見祭保存振興会が行う記念イベントと連携し、妙見祭の魅力発信を行います。



5. 産み・育て・学べてよかったまちづくり

不登校児童生徒の教育支援 2,203万円

教育支援センター「くま川教室」を代陽幼稚園跡地に新たに整備し、2拠点体制で活動を行います。また、児童生徒の多様なニーズに対応するとともに、保護者の不安や悩みの軽減に向け保護者支援にも取り組みます。

文教福祉委員会ではこんな意見が出ました

意見 代陽幼稚園跡地を新たに整備し、くま川教室が2拠点となることから、さまざまな取組を実施され、子どもたちが集まりやすい場所となるよう、一生懸命取り組んでいただきたい。

7. 危機に即応できる安全なまちづくり

防災訓練の充実 187万円

防災訓練を行うことにより、災害対応能力の向上、防災関係機関相互の連携強化並びに市民の防災意識の高揚を図ります。

総務委員会ではこんな意見が出ました

意見 高齢化社会において、福祉施設や病院では利用者が増えるなか、避難行動を伴う防災訓練等の実施が難しくなると思われることから、支援等の要請があれば、検討していただきたい。

2. 地の利・人の利を活かしたまちづくり

まちなか再生推進 1,678万円

中心市街地・日奈久温泉街の再生及び活性化に向けて、民間の活力を活用した、「公民連携」による「まちなか再生」に取り組みます。

経済企業委員会ではこんな意見が出ました

意見 先進事例を参考にするなど、住民や各種団体とともに盛り上げていくような、事業を推進していく気運をつくりあげていただきたい。

4. 災害からの復旧・復興まちづくり

坂本診療所の運営(診療所特別会計) 2,213万円

令和2年7月豪雨災害により医療機関がない坂本町において、新設された坂本支所内に坂本診療所を設置し医療の提供を行います。診療日時: 毎週火曜日・木曜日 12時30分～16時



6. 元気な暮らしと持続可能なまちづくり

定住促進対策 1,177万円

本市の魅力や移住・定住に関する支援制度等の情報を積極的に発信し、本市への移住定住を促進するとともに、県外や東京圏からの移住者に対し、移住に関する費用の一部を助成します。



その他の取組

斎場の管理運営 3,866万円

八代市斎場の適切な管理運営を行います。

建設環境委員会ではこんな意見が出ました

意見 八代市斎場については、供用開始から45年ということもあり、老朽化が著しいことから、設備の点検・整備をしっかりと行うとともに、新たな施設の移転先等について早急に検討していただきたい。

※各議案の採決結果は10ページをご覧ください。

≡ 令和8年3月定例会 質疑・一般質問一覧 (通告順) ≡

令和8年3月3日～5日・9日

1	大倉 裕一 (改革市民の会)	1 市職員の分限に関する状況について 2 市職員の係長職昇任資格試験について 3 市議会における市執行部の発言の責任について 4 イグサの灯を消さない取組について 5 令和8年度一般会計当初予算及び中期財政計画について
2	堀口 晃 (未来創生やつしろ)	1 八代市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例について 2 八代市花いっぱい条例の実効性について 3 組織再編に伴うまちなか再生推進室について
3	橋本 隆一 (公明党)	1 本市における物価高騰対応重点支援事業の取組について 2 本市の普通財産の利活用について 3 本市立学校における平和に関する教育の状況について 4 コンプライアンス推進事業について
4	山本 敬晃 (有志の会)	1 本市合併20年の評価について 2 バドミントンアジアジュニア選手権八代大会開催事業について 3 八代市二十歳の集いについて 4 民生委員・児童委員について 5 八代市政治倫理審査会が条例違反と認定した行為について
5	木村 博幸 (新自由連合)	1 本市における下水汚泥の有効活用について 2 本市の高齢者支援に関するプラチナネットワーク事業について 3 本市におけるパートナーシップ・ファミリーシップ制度について
6	水田 千春 (れいわ新選組)	1 八代港における特定利用港湾の指定について 2 八代市登録防災士制度について 3 本市における学校給食の食材について
7	西 和明 (公明党)	1 本市小学校における熱中症対策及び給水機設置について 2 地域医療等における郵便局との連携について
8	橋本 徳一郎 (日本共産党)	1 二見地区における産業廃棄物最終処分場設置手続きに対する本市の対応について 2 旧八代市厚生会館に関する再検証事業及び本市の特色を活かしたまちづくりについて 3 本市における周産期医療の在り方について 4 九州新幹線の騒音対策について
9	西村 英昭 (改革市民の会)	1 学校給食費負担軽減事業について 2 小中学校教職員の働き方改革及び業務負担軽減について 3 不登校児童生徒に対する教育支援事業について 4 八代市千丁健康温泉センターの供用廃止について 5 選挙公報の配布について
10	友枝 和也 (自由民主党 礎)	1 令和8年度イグサの状況及び令和7年8月豪雨の復旧支援について 2 八代市千丁健康温泉センターの閉館について 3 旧八代市厚生会館の今後のスケジュールについて
11	谷口 徹 (改革市民の会)	1 本市における循環社会の推進について 2 令和8年度当初予算における農林水産業費について 3 本市における交流人口の拡大策について 4 肥薩おれんじ鉄道の未来戦略及びJR肥薩線の展望について
12	永江 恵子 (自由民主党 和)	1 本市の教育行政について 2 本市が行う高校等との連携した取組について 3 高校再編問題に対する本市の認識について
13	中山 諭扶哉 (未来創生やつしろ)	1 まちなか再生推進事業について 2 情報公開について 3 不当要求行為等の防止について 4 公益通報について
14	橋本 幸一 (自由民主党 和)	1 八代市・氷川町・芦北町定住自立圏共生ビジョンについて 2 八代市過疎地域持続的発展計画の策定について 3 本市の地籍調査の進捗状況について
15	蓑田 由貴 (改革市民の会)	1 市民に伝わる広報やつしろになるための取組及び課題について 2 デジタルの活用や民間連携による広報力の強化について 3 ホームページ及びSNSの使いやすさ向上について 4 人に優しい伝わる広報に向けての取組について

Q

General question

質疑・一般質問 ダイジェスト

私たちの暮らしや身近な問題について質問・提案
質問及び答弁の一部を要約したものを紹介します。

- ◆本会議当日はライブ中継を行っています。
- ◆過去の一般質問は中継ライブラリでご覧いただけます。 八代市議会ホームページ▶



市の政策・総務

八代市花いっぱい条例のモデル
地域を指定する考えはあるか



堀口 晃

Q 日奈久温泉地域を花いっぱい条例のモデル地区と位置づけ、「湯と花の町ひなぐ」として、季節ごとの花の演出・観光客を迎える景観整備などを集中的に展開する考えはあるか。

A 花いっぱい条例の理念浸透を図る上で、モデル地区の指定は効果的であると考えているが、その指定に当たっては、地域住民等の自発的な熱意やご理解ご協力が重要であることから、まずは市内全ての地域に対するモデル地区指定への意向確認から取り組んでいきたい。



市の政策・総務

合併に対する今後の方向性と
国の動きについての
市長の考えは



山本 敬晃

Q 市町村合併に対する今後の方向性は。また、副首都構想について県知事は「推進すべきで、熊本県も手を挙げたい」と意欲を示しているが、市長は推進する立場であるか。

A 合併から20年が経過し、進展する人口減少社会を見据えたとき、より広域的な連携・協力体制が重要となる。現在の東京一極集中を是正する副首都構想については、地方創生の観点からも必要性を感じており、本市も地の利の点から一端を担えると考えている。



※1 パートナーシップ・ファミリーシップ制度

お互いを人生のパートナーとして協力し合う関係であること、またパートナーシップ関係にある2人に加え、その子や親を含めた関係を自治体が公的に認める制度

市の政策・総務

過去の議会答弁と
政治倫理審査会の認定に乖離、
認識と対応策は



大倉 裕一

Q 市議が市役所内で行った物品販売において、政治倫理審査会で事実関係が明らかとなり、過去の執行部答弁はこの審査会の認定と乖離している。市長の認識、再発防止策を伺う。

A 審査会の報告を踏まえると、「職員の任意によるもの」との認識にとどまっており、調査対象者の「地位に伴う影響力の行使」の認識を欠いていたものと考えられる。再発防止策として、議員の要望は全件文書化し、透明性確保の徹底、不適切な働きかけの防止につなげる。



教育

本市の学校教育における
平和に関する教育の取組状況は



橋本 隆一

Q 未来を担う子どもたちが、命の尊さや人権の大切さを学ぶ上で、平和教育の充実は大変重要である。本市の学校教育において、平和に関する教育にどのように取り組んでいるか。

A 各教科横断的な視点で取り組んでいる。修学旅行などの体験的な活動を通して、平和を自分事として捉えられるよう学びを深めている。平和に関する教育を通して、いじめや差別を許さない態度の育成、人権を尊重する意識の高まりにつなげていきたい。



暮らし・環境

パートナーシップ・ファミリー
シップ制度に関する取組状況は



木村 博幸

Q パートナーシップ・ファミリーシップ制度^{※1}については、多様な性に対する市民の理解も必要になってくると考える。本市における市民への周知・啓発の現状及び今後の取組は。

A 現在、それらの制度自体の周知・啓発は行っていないが、男女共同参画推進の取組の中で、多様な性に対する理解を深めるための周知等を実施している。今後は、先進自治体の調査・研究に取り組むとともに、機運の醸成に向けて制度の周知等を行っていく。



教育、農林水産

本市の有機学校給食導入に対する考えと、有機農業の現状とその支援



水田 千春

Q 学校給食に有機食材を取り入れる考えはあるか。また、有機農業も同時進行で取り組んでいべきと考える。有機農業の現状とそれに対する支援は。

A 有機食材は安全性や環境面から優れた食材であるが、生産量が少なく一般食材より高価なため、現時点では給食への導入は困難である。有機農業の支援は、主に環境保全型農業直接支払交付金事業を国、県及び市で実施しており、本市では4団体が有機農業に取り組んでいる。



健康・福祉

地域医療等における郵便局との連携の可能性について市長の考えは



西 和明

Q 人口減少や少子高齢化が進み、地域力が弱まっている。地域医療を含め、本市の施策全体において、地域の支え合いを補う場所として、郵便局と連携していく可能性はあるか。

A 郵便局は、地域住民の生活を支える不可欠なインフラであると認識している。本市と包括連携協定を締結している。今後も引き続き、住民が住み慣れた地域で行政サービスを受け続けられるよう、幅広い分野において新たな連携の在り方を検討していく。



教育

県立高校再編問題に対する本市の取組と市長の考えは



永江 恵子

Q 本市の将来を左右する極めて重要な課題である県立高校再編問題について、本市の認識と今後の関わり方は。また、市長は県に対しどのような意見表明を行っていくのか。

A 市内高校の定員割れが続くようであれば、統廃合の対象となることは避けられない。魅力ある高校が地域に残ることは、地域が存続することとイコールであると考えており、地域全体で地元の魅力ある高校づくりに向け、市としてできることは全面的に協力していく。



経済・文化

まちなか再生推進事業での日奈久温泉活性化に向けた取組は



中山 諭扶哉

Q 日奈久温泉について、これまで幾度となく活性化を試みてきたが、有効な手立てとならなかった。新たな取組となる本事業について、その内容と今後の具体的な進め方は。

A まちなか再生推進室を新設し、公民連携を推進する職員の人材育成と併せて、民間で再生の中心的役割を担う人材の発掘に取り組む。また、外部専門家の助言を受けながら地域の関係者と意見交換を重ね、まちづくりの大きな方向性を見出していきたい。



暮らし・環境

二見地区の産業廃棄物最終処分場の設置許可申請への市長意見は



橋本 徳一郎

Q 二見地区の産廃処分場の設置手続きは最終段階。しかし、業者が示す環境汚染対策等には地元住民からの信頼は得られていない。同施設の設置許可申請に対する市の考えは。

A 施設設置許可申請について、関係法令に基づき生活環境の保全上の見地から市長意見を作成している。申請の内容を精査し、環境保全措置の要請への事業者の対応状況や、二見地域住民の不安を解消できているか等総合的に判断し、県に対し市の意見を述べたい。



教育

給食費を完全無償化とせず保護者からの一部負担とした市の考えは



西村 英昭

Q 国の給食費支援策は小学校のみを対象とする無償化とはいえ不完全な制度であるが、本市が国の支援との差額分を保護者負担とした趣旨と政策判断の背景は何であるか。

A 物価高騰が続く中、国からの支援が将来も維持される保証はなく、市独自で無償化を続ければ、結果として給食の質が低下する恐れもある。そこで、まずは国の制度を最大限活用しつつ、現実的に可能な範囲で小中学校給食費の負担軽減を進めることとした。



市の政策・総務

第2期定住自立圏共生ビジョンの検証と第3期ビジョンの取組は



橋本 幸一

Q 第2期八代市・氷川町・芦北町定住自立圏共生ビジョンの成果と課題をどう検証し、第3期ビジョンへどう生かしたのか。今後の具体的な取組は。

A 第2期ビジョンでは、十分な成果を残した取組がある一方、コロナ禍等の影響で進捗が望めなかった取組もあった。第3期ビジョンでは、1市2町がさらに連携を図り、圏域全体の活性化、定住人口の増加につなげるため、24の具体的取組を掲げ事業を実施する。



市の政策・総務

広報やつしろの編集状況と見やすさ向上に向けた課題とは



蓼田 由貴

Q 市民から「文字が多く見づらい」との声がある。他自治体の事例を参考に、本市の編集状況や課題を検証し、誠実で分かりやすい広報をどのように構築していくのか。

A 読みやすい、分かりやすいことを基本に編集に取り組んでいる。掲載している情報量の多さや紙面のレイアウト構成などに改善すべき点はあると考えており、読者アンケートの結果を踏まえながら、より市民に伝わりやすい紙面づくりに努めてまいりたい。



健康・福祉

千丁健康温泉センターの閉館方針、市民への十分な説明と理解を求める



友枝 和也

Q 長年多くの市民に愛された千丁健康温泉センターの廃止条例案に対し、反対の声が上がる中、利用者や地域住民が納得できる丁寧な説明と理解は得られているのか。

A 施設や設備の深刻な老朽化により、安全性の確保と経営の継続性が難しい状況にあることから、供用を廃止したい方針である。市民には丁寧な説明が重要であると考えている。説明会を開催し、住民や利用者へ直接、現状や経緯について説明し意見を伺いたい。



経済・文化

交流人口のさらなる拡大策は



谷口 徹

Q 交流人口の拡大については、観光・クルーズ船・スポーツ・文化などの各分野において取組を実施しているとのことだが、今後さらに進めていく拡大策はないか。

A 観光需要の多様化を踏まえ、SNS等の戦略的活用や専門的な知見を取り入れ、多角的プロモーションによる認知度向上・誘客強化を図る。また、交流人口の拡大に向け、本市の持つポテンシャルを総動員するとともに、民間事業者や関係団体との連携を図る。



意見書提出

令和8年3月定例会において、議員発議による意見書案1件が提出され、原案のとおり可決され、内閣総理大臣ほか関係閣僚に提出しました。

◆ 水俣病被害者救済と水俣病問題の早期解決を求める意見書案（発議案第1号）

……大倉裕一議員他12名から提出

八代市長の給与の減額支給に関する条例の制定について

総務委員会で質疑及び意見が行われ、以下のとおり意見がありました。

- ・ 道路交通法を遵守されなかったことは悪いことであるが、過ちを犯した後の説明や報告については、評価できる。自らを戒め、その反省として4カ月の減給処分を提出したことは、重い決断をされたとの思いが伝わる。
- ・ 152キロという、全国から注目を集める事態になったことに対しては、今回の処分については軽いと受け止めるべきところがあり、しっかりとした誠意を見せるためには多くの人が納得しうる状況を作るのが一番大事ではないか。
- ・ 減給処分を2カ月から4カ月にあげたことは評価できるが、根幹として市長はどうあるべきかである。安心・安全のまちづくりを作るという観点から、市長の本市に対する思いが市民に伝わるような体勢づくりを行うことが必要でないか。

令和8年3月定例会 採決結果

[全会一致で可決・認定・承認した議案]

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案第1号	令和7年度八代市一般会計補正予算・第13号	議案第24号	財産の取得の変更について（中学校教師用教科書、指導書及びデジタル教科書）
議案第2号	令和7年度八代市一般会計補正予算・第14号	議案第25号	市道路線の廃止について
議案第3号	令和7年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第4号	議案第26号	市道路線の認定について
議案第4号	令和7年度八代市介護保険特別会計補正予算・第2号	議案第27号	八代市一般職の職員の給与に関する条例及び八代市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について
議案第5号	令和7年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算・第1号	議案第28号	八代市営駐車場条例の一部改正について
議案第6号	令和7年度八代市診療所特別会計補正予算・第2号	議案第29号	八代市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
議案第7号	令和8年度八代市一般会計予算	議案第30号	八代市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部改正について
議案第8号	令和8年度八代市国民健康保険特別会計予算	議案第31号	ふるさと八代元気づくり応援基金条例の一部改正について
議案第9号	令和8年度八代市後期高齢者医療特別会計予算	議案第32号	八代市営住宅設置管理条例の一部改正について
議案第10号	令和8年度八代市介護保険特別会計予算	議案第33号	八代市公共下水道事業（八代処理区・八代東部処理区）区域外流入受益者分担金条例の一部改正について
議案第11号	令和8年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計予算	議案第35号	八代市老人憩いの家条例の一部改正について
議案第12号	令和8年度八代市診療所特別会計予算	議案第36号	八代市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例の制定について
議案第13号	令和8年度八代市久連子財産区特別会計予算	議案第37号	八代市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
議案第14号	令和8年度八代市椎原財産区特別会計予算	議案第38号	八代市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について
議案第15号	令和8年度八代市水道事業会計予算	議案第39号	八代市国民健康保険財政調整基金条例の一部改正について
議案第16号	令和8年度八代市簡易水道事業会計予算	議案第40号	八代市国民健康保険税条例の一部改正について
議案第17号	令和8年度八代市下水道事業会計予算	議案第41号	八代市立博物館未来の森ミュージアム条例の一部改正について
議案第18号	専決処分の報告及びその承認について（令和7年度八代市一般会計補正予算・第12号）	議案第42号	八代市企業振興促進条例及び八代市企業立地促進に関する固定資産税の課税免除を定める条例の一部改正について
議案第19号	八代市総合計画基本構想（八代未来づくりビジョン）の策定について	議案第43号	八代市手数料条例の一部改正について
議案第20号	八代市過疎地域持続的発展計画の策定について	議案第44号	契約の変更について（八代市管内宅地かさ上げ受託合併工事）
議案第21号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	令和7年陳情第13号	はりきゅう等施設利用券について
議案第22号	契約の締結について（道の駅坂本新築工事（建築））	陳情第1号	屋内の遊び場設置について
議案第23号	契約の変更について（八代南部排水機場2号ポンプ設備復旧工事）		

[賛否が分かれた議案]

議案番号	議案名	高山	堀	中山	山本	蓼田	西村	谷	大倉	橋本	深田	野崎	水田	木村	田方	た	小川	山本	西	橋本	橋本	永江	友枝	北園	成松	橋本	金子	谷川	村川	採決結果	
発議案第1号	水俣病被害者救済と水俣病問題の早期解決を求める意見書案	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第45号	八代市長の給料の減額支給に関する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=賛成 ×=反対 除=除斥（規定により採決に加われない）棄=棄権 欠=欠席
- =議長（高山正夫議員は議長のため採決には加わっておりません。）

※「議案第34号 八代市千丁健康温泉センター条例の廃止について」は、事件撤回請求が提出され、承認されたため、消滅しました。

委員会の活動レポート

取組状況をご紹介します

常任委員会・特別委員会の視察報告、活動状況を紹介します。市民生活に深く関わる課題について調査研究を行っています。



▲市議会ホームページに視察報告書を掲載しています。

建設環境委員会 1月15日 広島県竹原市

高性能ドローンを活用した下水道管の点検について

高性能ドローンを活用することで、下水道管の点検作業における効率性と安全性が確保され、高解像度動画及び点群データの3Dモデル化画像を用いた信頼度の高い客観的な評価・判定を実施することができます。危険が伴う下水道管の点検を、効率的かつ安全に実施する必要があることから、今後の委員会活動に生かすものです。



経済企業委員会 1月20日 山口県下関市

下関市における観光施策について

下関市では、観光の目指したい姿を改めて設定するとともに、関係するステークホルダー間で目標を共有して、一体感を持って取組を進めるため、今年度から、観光客受入体制強化事業の中で人流データシステムの導入及び実証実験の展開に取り組まれています。観光施策及び取組の経緯等を参考にし、今後の委員会活動に生かすものです。



総務委員会 1月21日 兵庫県西宮市

DXの推進について

西宮市では、ICT化やデジタルによる効率化を進め、業務の在り方の見直しや行政課題の解決も含めたDXの推進が行われています。これまで、電子申請システムや電子請求サービスの実証、官民連携による地域課題の解決に向けて取り組まれており、システムの導入やサービスの実証結果等を参考に、今後の委員会活動に生かすものです。



文教福祉委員会 1月21日 京都府京都市

不登校支援の取組について

京都市では、「生徒指導」及び「教育相談」、教育支援センターを一体化した「京都市教育相談総合センター」を開所されました。不登校の児童生徒を受け入れ、特色ある8つの学習室でさまざまなサポートを実施、メタバースを活用したオンラインによるコミュニケーションも行われています。児童生徒への支援に伴う施設の運営手法等を参考にします。



議会運営委員会 1月28日 愛知県安城市

議会運営について

安城市では、全て電子表決システムで採決しており、Wi-Fi環境やシステムエラー等の不測事態に備え、起立や挙手等による採決に切り替える想定も万全です。また、議員へFAX等による連絡手段を廃止し、アプリやメールを利用するDX化を採用されており、本市の議会ICT化やDXを活用した議会運営・改革に生かすことを目的とするものです。



議会をもっと身近に

Y@voice

八代市内の高校生が、まちづくりや議会などについて考えていることを、議会広報委員がインタビューします。

今回は永江恵子委員と橋本真喜委員が「熊本県立八代農業高校」を訪問しました。



Q 八代で生活していて困っていることは？

- ・最寄駅から通学路にお店がない。カフェや飲食店があると、登下校がもっと楽しくなると思います。
- ・通学路に街灯が少なく、道路が整備されていないところもあり、特に暗い時間帯はとても危険です。



のぞみ 澤田 希望 さん(3年)



みゆ 石田 美結 さん(3年)

Q 高校生活ではどのようなことを学び、将来にどう生かしたい？

- ・勉強だけではなく、自ら考えて行動する主体性や人間力など、社会に必要な力を身に付けています。
- ・周囲の人と協力してさまざまな困難を乗り越えていく大切さを学びながら、毎日の学校生活を楽しく過ごしています。
- ・将来の目標に向かって、社会で自立し、家族に恩返しできるように意識しながら、研究などに取り組んでいます。



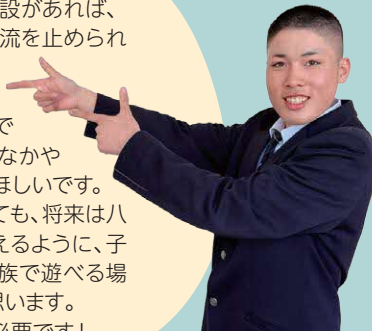
まなと 山田 愛斗 さん(3年)

Q 八代のまちがもっと良くなるためには？

- ・映画館やアミューズメント施設があれば、熊本市方面へ遊びに行く人流を止められるのでは。
- ・八代は自然を楽しむ遊びもたくさんできますが、そこまで行くことが難しいので、まちなかや駅からの交通手段を考えてほしいです。
 - ・進学などで地元を離れても、将来は八代に戻ってきたいと思えるように、子育てしやすい制度や家族で遊べる場所が充実するといいと思います。
 - ・八代にしかない魅力が必要です！



かいと 佐藤 凱斗 さん(2年)



たもん 河野 多聞 さん(3年)

★ご協力ありがとうございました。

避難訓練を実施しました

令和8年1月26日(月)、大規模地震及び火災同時発生を想定した八代市本庁舎消防訓練の実施にあわせて、議員の避難訓練を実施しました。

訓練では、定例会や委員会中に地震や火災が発生した場合に行うべき動作や避難経路等について再確認しました。

終了後、高山議長より「より強固な防災意識を持つとともに、議員活動のさらなる充実につなげていただきたい。」との講評がありました。



編集後記

先日、八代農業高校を訪問し、生徒の皆様とインタビューを通して交流する機会をいただきました。さわやかで前向きな姿、今をひたむきに生きる熱い心、未来への希望に満ちた力強いエネルギーに触れました。子どもたちが自ら輝き、たくましく幸せな心を育む教育が重要だと改めて感じたところです。

「人づくりがまちづくり」を原点に、市民の皆様の声や先人から受け継ぐべき歩みも大切にしながら、より良い八代の未来のために、誠実に全力で取り組んでまいります。

議会広報委員会 永江恵子



発行：八代市議会
編集・文責：八代市議会 議会広報委員会
広報委員：堀口 晃、深田浩介、金子昌平、たーみー、谷口 徹、永江恵子、中山諭扶哉、橋本真喜

八代市議会ホームページ
検索



八代市議会 Facebook



フチヤロ



本紙に関する御意見・御要望はこちらまで
TEL 32-5984・FAX 33-4440
E-mail: gikai@cityyatsushiro.lg.jp

